

令和5年度第2学期 法学部定期試験時間割

※12月27日一部変更となりました。

試験日	試験時間	配当年次	科目	教員名	履修者数	教室	学生番号	持ち込み条件
1/29 (月)	1	学3-4	国際私法	嶋 拓哉	60	5	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	2	学2	民法Ⅱ	林 耕平	120	8	～01224088	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					76		W203	
	3	学3	民法Ⅳ	林 誠司	113	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
4	学2	刑法Ⅱ	菅沼 真也子	150	8	～01224114	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)	
				76		5		01224115～ (15*****含む)
1/30 (火)	1	学2	国際法Ⅰ	児矢野 マリ	150	8	～01224097	有斐閣刊行の国際条約集 (書込み(傍線は除く)・付箋紙貼付のないもの)
					66		5	
	2	学2-4	法史学Ⅰ	桑原 朝子	100	8	～01214275	授業内で指定したA4用紙1枚：裏表使用可
					63		5	
	3	学2	地方自治論	山崎 幹根	120	8	～01224055	全て持ち込み不可
					72		5	
	4	学2	比較政治	馬場 香織	155	8	～01224041	全て持ち込み不可
					84		5	
1/31 (水)	1	学2	憲法Ⅱ	鈴木 敦	100	8	～01224073	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					66		5	
		学3	西洋政治思想	権左 武志	59	W203	全学生	全て持ち込み不可
	2	学2	商法Ⅰ	野田 耕志	130	8	～01224100	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					78		5	
	3	学2	刑事訴訟法	上田 信太郎	150	8	～01224106	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
					84		5	
		学3	国際政治	遠藤 乾	120	W203	全学生	全て持ち込み不可
4	学3	行政法Ⅱ	津田 智成	143	8	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)	
2/1 (木)	1	学2	民法Ⅰ(追試験)	吉田 邦彦	99	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	2	学3-4	社会保障法Ⅱ	川久保 寛	130	8	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)
	3	学2-4	法社会学	郭 薇	122	8	全学生	全て持ち込み不可
2/2 (金)	1	学2-4	比較法Ⅱ	会沢 恒	58	5	全学生	六法に加え、授業中に指示
	2	学3-4	知的財産法	吉田 広志	100	8	～01214148	後日掲示及び講義中に指示する
					48		5	
	3	学2	アメリカ政治史	小浜 祥子	130	8	～01224065	全て持ち込み不可
66					5		01224067～ (11*****含む)	
4	学2	刑法Ⅰ(追試験)	小名木 明宏	29	W203	全学生	全て持ち込み不可	
2/5 (月)	2	学2	憲法Ⅰ(追試験)	齋藤 正彰	32	W203	全学生	六法のみ持込可 (判例付きのもの及び書き込みのあるものを除く)

<試験時間>

1 講時：8：45～10：15

2 講時：10：30～12：00

3 講時：13：00～14：30

4 講時：14：45～16：15

5 講時：16：30～18：00

法学部専門科目 定期試験受験上の注意

1. 試験時間中は、ロビーで声高に話をしないこと（試験室の迷惑にならないように注意すること）。
2. 受験者は、**試験開始 10 分前には試験室に入ること。**
ただし、前の試験が終了していないこともあり得るので注意すること。
3. **試験開始後 30 分経過後の遅刻者に対する受験は認めない**（遅刻しないように十分注意すること）。
4. **試験室での着席は、原則として一席置きとする。**
5. 受験者は、試験場内において、それが試験の実施に必要な限りにおいては、すべて監督者の指示に従って行動しなければならない。監督者の指示に従わないときには、退室を命ぜられることがある。
6. 受験中は、学生証を必ず机の上に提示しなければならない。**万が一忘れた場合には、試験開始前に教務担当窓口で「受験証明書」の交付を受けること。**
7. 受験者は、試験開始後 30 分間は退室することができない。**試験の途中で答案用紙を提出する者は、答案用紙の提出後、全ての所持品を持って退室しなければならない。**
8. 交付された答案用紙は、すべて提出しなければならない。
9. 六法等の持ち込みが認められることがあるが、その際には、
 - ①書き込みのあるもの
 - ②コピーを挟んだもの、貼り付けたもの
 - ③判例付きのもの（科目によって異なる）の使用は**不正行為と見なされる**。あらかじめ注意して、各自の責任で適切な六法等を準備しておくこと。
なお、六法等を忘れた者に対しての貸出しは行わない。
また、試験時間中に持ち込みの六法等を検査することがある。
10. **答案の作成は、ボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）による。**特別な場合にのみ鉛筆等の使用を許可することがある。
11. 試験は、厳重な監督のもとで行われる。
法学部では当然のことながら公正さやルールを重んずることから、**不正行為は厳しく処分（停学等）される。**
12. **携帯電話を時計代わりに使用することはできない（電源を切っておくこと）。**
13. 成績公表以前に、教員に対する採点結果に関する問い合わせは禁止する。

令和5年度第1学期開講科目の追試験に関する 注意事項について

令和5年度第1学期開講科目「憲法Ⅰ」、「民法Ⅰ」、「刑法Ⅰ（R1年度以降2年次進級者）」の追試験を受験する場合は、試験時間割を確認し、指定されている教室で受験してください。

なお、追試験を受験できなかった場合の代替措置は行われなため、試験前は体調管理に十分気をつけるようにしてください。

令和5年12月 法学部教務担当

【4年次生対象追試験】

4単位または2単位を1科目合格すれば、卒業の認定を行うことができる学生で、令和5年度第2学期に履修登録をしていた法学部専門科目(他学部履修は含まない)のうち1科目のみ申請出来ます。詳しくは便覧で確認してください。

※既に卒業要件を満たしている者は対象外です。

※申込みの時点で、履修した全科目(他学部・全学教育科目を含む)の成績が確定していることが条件となります。

各科目合格者の学生番号発表(4年次生のみ)

2月2日(金)～随時

追試験受験申込み受付

2月2日(金)～2月7日(水) 15時まで

追試験日程(予定)

2月13日(火) 2講時

※試験方法等は後日揭示予定

他学部科目の担当教員に早く成績を出してもらおうよう直接依頼することは絶対にしないこと。

令和5年12月 法学部教務担当